

令和５年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【１年生 家庭科】 指導者名 飯塚 あずさ

観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

指導単元・月	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
A 家族・家庭生活 4月	①	・ 家庭や家族の機能を知る。	・ 家族や家庭の基本的な機能について理解している。	・ プリント ・ 定期考査	・ 授業展開 の工夫
	②	・ 自分の成長とそれに関わってきた人々について考える。（ガイダンス）	・ ３年間の学習に見通しをもち、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて関心をもって学習活動に取り組むことができる。		
B 衣食住の生活（衣生活） 5月から10月	①	・ 衣服の選択・着用・手入れに関する基礎知識がわかる。 ・ 衣服の選択・着用・手入れに関する基礎的技術を身に付ける。 ・ 「ポケットティッシュケース」の製作。	・ 衣服材料や汚れに応じた手入れができる。 ・ 衣服の社会生活上の機能について理解している。 ・ 既製服の表示と洗濯に当たっての留意事項について理解している。 ・ 裁縫ミシンと裁縫道具の扱い方がわかる。 ・ 補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修できる。	・ プリント ・ 作品 ・ 実技テスト ・ 定期考査	・ 未提出者連絡 ・ 質問教室 ・ 作品見本提示
	②	・ 目的に応じた着用、個性を生かす着用の工夫をしている。 ・ 計画的な活用・組み合わせを考える。	・ 目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。 ・ 目的に応じた衣服の適切な選択について、収集・整理した情報を活用して考え工夫している。 ・ 日常着の計画的な活用や選択に、学んだ知識と技術を活用しようとしている。		
	③	・ 自分の衣生活について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	・ 衣服と社会生活との関わりに関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。 ・ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。		

B 衣食住の生活 （食生活） 11月から3月	1	・食事が果たす役割、健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	・食事の役割や健康によい食習慣の重要性について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	・プリント ・定期考査	・未提出者連絡 ・質問教室
	2	・自分の食生活にどのような改善が必要か表現することができる。	・自分の食生活を点検し、改善点を見つけ、健康によい食習慣などについて考え、表現できる。		
	3	・中学生に必要な栄養素に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	・自分の食生活に関心を持ち、健康によい食習慣について考え、日常生活を改善に意欲的に取り組むことができる。 ・中学生に必要な栄養素の特徴について関心を持ち、自分の食事と関わらせて考えることができる。		